
the MagickTX_PRO ver 286VS4.5 Modem/Telnet ver,
for KmTermX for Windows & NetCock/KTC-BBS & CockExplorer users.
Copyright (C) 1993 - 2020 by Tohru Ryuzoji.(龍造寺 徹 as RYUZ0)
<https://ryuzoji-tohru.sakura.ne.jp/>
tohru.ryuzoji2@gmail.com

KmTermX for Windows & NetCock/KTC-BBS & CockExplorer による、
通信統合環境を実現する。

-- Reading Manual --

このプログラムを、最大の理解者であった ZAT君に捧げる。
また、マックス氏にも感謝を捧げる。

注意事項:本マニュアルをロシア語に訳す事を禁止します。
ただし、日本語を読めるロシア人が()読み上げて、
それを記録する物を制限する物ではありません。

第1章 MagicKTXのライセンスについて

1.1 日本語による MagicKTXのライセンス表記

1.1.1 CopyMiddle宣言:

MagicKTXは CopyMiddle 宣言を致します。これは、個人、企業が経済活動目的で利用する場合には有償、しかしフリーソフトウェア、経済活動の中でも緊急性が求められる場合には無償で提供、サポート、デバッグを受けられる、と言う物です。有償の場合の価格体系については 第7章 第5段 シェアウェアについて を参照して下さい。

1.1.2 CopyMiddle の定義:

私自身の著作権は、法律の認める期間中は放棄しない物とし、このソフトウェアを改変、または一部を再利用したい場合、有償で提供される物については私にもその一部が還元される物とし、その費用は当事者間による話し合いによって決められる物とします。また、基本的に、無償の物については無償で提供いたします。

1.1.3 著作権表示について:

有償の物については "Powered by Tohru Ryuzoji." の文字列をヘルプかそれに準ずる所に必ず表示する物とします。無償な物については著作権表示は必要ありませんが、ソースコードに "excerpt from MagicKTX by Tohru Ryuzoji under CopyMiddle Licence." の記述を求めます。

基本料金無料のオンラインゲームはライセンス表記に関しては有償の物と同じ扱いを求めます。ライセンス表記が正しく行われていないと言う理由で提訴する可能性を心に留めて下さい。

1.1.4 著作権について:

有賞無償を問わず、私は私のコードを改変または一部を再利用した第三者と共同著作権を所有する物とします。著作権が有効な期限に関しては第三者が決定する物とし、私は異議を唱えない物とします。

1.1.5 Linux コミュニティへ

各Linuxディストリビューターは利益を目的とした法人ですが、その利益はサポートや開発、メンテナンス等に大きく利用されていて、実態としてはボランティアに限りなく近いので、各Linuxディストリビューターへはソースコードの無償提供を行います。仕様に関してはLinus氏に一任する物とし、できるだけ派生物が出ない様コントロールして下さい。

1.1.6 ライセンスの譲渡、中古品等について

ライセンスを譲渡する事は認められません。従って中古品の売買は禁止します。ソフトウェアの健全な発展の為、価格を安く抑えるためには必要な措置だと理解して下さい。

1.1.7 違法コピーが発覚した場合:

違法コピーを行った事が発覚した場合、著作権者はいかなる額の損害賠償も無制限に請求を行える物とします。損害賠償額、請求回数は無制限とします。注意:私のライセンスに従わない場合、破滅的な結果をもたらす事があります。ご注意ください。

1.1.8 解釈の優先順位:

英語のライセンス文書と日本語のライセンス文書の間で、解釈の違いが生じた時は、日本語のライセンス文書が優先される物とします。

1.2 ABOUT LICENCE of MagicKTX in English.

1.2.1 The CopyMiddle pronouncement:

the MagicKTX would have been done The CopyMiddle pronouncement. This, for personals or companies use in economic, would be charged. But for free softwares, or at emergency economical actions would be donated for FREE. Those cases could be given supports, debugs, for FREE too. If you would like to do pay for your use to me, please refer at chapter 7, section 5.

1.2.2 The definition about "CopyMiddle".

My copyright wouldn't have been abandoned between times admited by International Laws. In cases of change or reuse apart of my software, when they would be charged, you would have to return a part of it to me. The cost would be decided by talking with you and me. And if they wouldn't be charged, I would offer not to be charged.

1.2.3 About showing CopyRight:

If you would charge by anyhow, you would have to show at HELP or so the characters of "Powered by Tohru Ryuzoji.". If you would not charge, you wouldn't have to show my Copyright, but you would have to write into your sourcecodes to "excerpt from MagicKTX by Tohru Ryuzoji under CopyMiddle Licence."
.

If Basically FREE Online Games need Items charges, would you please treat my Copyright as same as needed paying monthly, for showing my Copyright. There might judge by coats of law for this point.

1.2.4 About CopyRight:

It wouldn't have relationship with be charged or not, the CopyRight is holded by me and changer or excerpter. And I would not say any objections to holding your rights and times.

1.2.5 FOR ALL LINUX DISTRIBUTORS:

These would to be the corporations for profits, but these gain is used for hording hard supports, build, and maintenance. And this is near to volunteer unlimited. So I would offer the MagicKTX's source codes for Linux for FREE. I would leave about specification to Mr.Linas, and please control not to diverge.

1.2.6 Trading Lisencc to the others, about old market.

You Couldn't trade your Lisencc to the others. There must not exist old market.

1.2.7 Occasion in Illigal use.

If you would DONE irregal copying of My Software, You must pay Unlimited bills and Unlimited times when I billed. Notice, If you don't follow my license, You would lost yourself forever.

1.2.8 DIFFERENT BETWEEN IN JAPANESE AND IN ENGLISH LICENSE PAPERS.

If there would be different from in Japanese and in English of this LISENCE, it would be overwritten by in JAPANESE.

第2章 はじめに

2.1 MagicKTX_PROとは

通信ソフト KmTermX for Windows 用のマクロで、ホストプログラムに Netcock か又は KTC-BBS を採用している BBS において自動運転を行う物です。パスワードを手動で入力する為、完全なオートパイロットではありませんが、パスワードをファイルに記録しないため、NetCock の信頼性と組みあわせる事で比較的短いパスワードでも高い機密性を有します。

2.2 MagicKTX_PRO を導入するメリットデメリット

現在、主に出回っているNetCock用のマクロとしては、他に KTXcock、Cocktailが在りますが、MagicKTX_PRO は次の点で優れています。

- ログディレクトリを自動的に作成する。(WindowsNT系)
- 設定するメッセージ数が少ない。
- 設定が簡単である。
- 自分が出したメールも読むことが出来る。
- Cocktail で拡張されたPADの殆どに対応している。
- 送信した文章に対しては正確性が保証される。ユーザーが文字化けが起こった事を認識する事はありません。
- 少なくとも、KTXcockの仕様は殆ど完全に網羅しているので、KTXcockを使う必要は無いと言っても良いでしょう。逆にCocktailで無いと使えないのは、

- BOX処理が出来ない。
- 一部の改造NetCockでしか使えない機能には対応していない。
- メンテ時にタイトル補完が出来ない。

です。自分がどのような機能を使いたいと言う事を良く考えて、お使いになるマクロを選べば良いと思います。

2.3 MagicKTX_PRO 誕生の経緯

MagicKTX_PRO は、Hi.Matu氏による KTXcock ver1.03 が原点になっています。KTXcock は非常に完成度が高くて重宝させていただいたのですが、使っていく内に幾つか不満な点が出てきました。そこでこれを改造してできあがったのが、MagicKTXの前身である、『KmTermX で NetCock でCMだと激しいマクロ1.06a』^{*1}です。ところが、KTC-BBS という NetCock によく似た、NetCock 以上のキャパシティーを持つホストプログラムが現在開発中であり、KTXcock はそれにもう既に対応をすましていると言う話を耳にしました。そこでKTXcock 新バージョンで進化した点を取り入れ、KTC-BBS 対応を実現したマクロを作りました。これが、MagicKTXです。

現在は、PAD 書式は KTXcock と互換性を取りつつ、独自の機能を追加した上位互換と
note

*1 公開するまでは嬉しいマクロと言う名前でした。(^^;;;

言う形になっています。

ver1.41から、KmTermX for Windows に対応しました。
2010年 4月より、ver2.08からMagicKTX_PRO へと最終進化を遂げました。

第3章 MagicKTX_PRO の特徴

- 1) okaz(あばると)氏作のログリーダーCockExplorer(Win)(以下 CE)の持っている機能をフルに利用し、基本的な作業はよりさくさく出来るようになります。
- 2) NetCock と KTC-BBS の両方のホストプログラムに対応しています。
- 3) ログの不要な所を全て削って極力サイズを小さくします。タイトル、 メール、 掲示板、 アクセスログをそれぞれ別ファイルに取ることもできます。
- 4) ログリーダーで自分の出したメールも読むことが出来る様になります。
- 5) オートパイロット中に、他回線の人にメッセージを送ることが出来ます。
- 6) 未読が 1 件もなければログリーダーを起動しません。(WindowsNT系)
- 7) ネットごとにログディレクトリを分ける事が出来ます。なお、サブディレクトリへのログのインストール、サブディレクトリからのアンインストールも完全自動で行います。(WindowsNT系)
- 8) 複数のプロトコルを簡単に使い分けることができます。 NetCock では Ymodem, Ymodem-G, (Zmodem), KTC-BBS では更に Zmodem に対応しています。
- 9) MagicKTX_PRO の出力するメッセージを日本語/英語から選択できます。
- 10) 高速通信で起こりがちな文字落ち、 取りこぼし、 モデムの相性等に対して対策を行い、タフな通信環境を実現できます。また、NetCock のメッセージカスタマイズに対してもかなりの耐性を持ちます。
- 11) 回線切断待機をあらかじめ予約することができます。
- 12) アクセスログを取得することができます。
- 13) global/local option の概念を導入。global option を変更すると、その結果は全てのネットに対して適応されます。local option でネット毎に別々の設定をする事も出来ます。
- 14) global/local option を変更しても再コンパイルする必要はありません。
- 15) KmTermX の持つ各種バッファを積極的に利用することにより、更なる高速化への可能性を模索します。
- 16) 手動で起動した場合は各種設定を表示します。
- 17) メールがきた場合にメールボックスも閲覧することができます。(ログを分割している場合かつ WindowsNT 系の場合)

- 18) 接続時のタイミングを自分で設定出来るので、反応が悪い場合などでも確実にログイン出来ます。
- 19) Telnetに対応しています。電話代が飛躍的に減少します。(^^)
- 20) 改造版NetCockの書逃げ掲示板に対応しています。
- 21) 未読のないログファイルは自動的に消去します。
- 22) 自分の書き込みに対し、チェックを行い、ビットずれ、文字化け等が発生した場合、修正を自動的に行います。少なくとも、書き込みの時点での正確性は保証されます。修正の閾値は連続20回で、ソースを書き換えれば変更も容易です。ユーザーが訂正を行った事を認識する事はありません。送信した文字が化けるとリトライを繰り返します。閾値は20回です。時間ができれば直します。お金も欲しいな。

3.1 制限事項

3.1.1 使用するファイル名の文字種に関する制限

基本ファイル名には数字を使わないようにして下さい。数字を使うと PAD、UP ファイルを正しく処理することができませんので、注意して下さい。

基本ファイル名に 2 バイト文字を使用した場合、"¥" の文字コードを含む文字があると誤動作する可能性が報告されています。これは本来、コンパイラである KMC や実行環境である KmTermX の問題、あるいはこのレポート自体的外れな可能性もあるのですが、作者の環境では "¥" を含む文字コードが何なのか不明だったため、検証できていません。安全のため、基本ファイル名には 1 バイトコードの文字を使用して下さい。

3.1.2 エスケープシーケンス使用に関する制限

最近、ログリーダーの方でエスケープシーケンスは敬遠される方向にあります。と言う訳で、MagicKTX_PRO でもエスケープシーケンスはサポート外とさせていただきます。KmTermX for Windows でもエスケープシーケンスを有効にすることは出来る様ですが、使った事が無いので、実際どの様になるか判りません。

3.1.3 仮想メールの宛名に関する制限

仮想メールを出力する際に、宛名にごみが付く場合があります。これは、NetCockが出力する文字数を決め打ちしているためです。パラメータを渡すとか、色々考えたのですが、格好悪いのでしませんでした。興味のある人はソースをいじるなり色々試してみして下さい。(あるいは、SYSOP に文句を言ってみるとか。)

3.1.4 マルチログ機能に関する制限

OS が Windows95/98の場合、子プロセスは一切起動できません。その為、マルチログ機能を使いたい場合は、あらかじめサブディレクトリを作成して下さい。WindowsNT 系では、問題無くログをインストールできます。

3.1.5 ログリーダー起動に関する制限

上と同様の理由で、OS が Windows95/98 の場合、ログリーダーを併用できません。どうしてもログリーダーを使用したい場合は、WindowsNT 系を利用して下さい。

3.1.6 ファイル移動の制限

キャッシュに乗っていないログファイルをマルチログ機能で移動させると、KmTermX for Windows の仕様により、途中で異常終了し、ログが消える事があります。現在、30 秒間とっています。この時間内にコピーが終わる自信がある場合にはマクロに任せていいですが、自信が無い方は手動であらかじめ移動させておいたほうが安全です。DOS版にはこの制限はありません。通常の利用で問題になる事は在りません。

3.1.7 メールボックスの名前の変更不可

ver1.45 まで、メールのログに、送信したメールしか無い場合、CEで認識できないという不具合が有りました。その対応として、メールボックスのボードタイトルを予め決め打ちして設定してあります。

3.1.8 Telnet対応ホストの制限

NET-COCK Quintet ver3.60 チャチャすぺしゃる c0.51 with PSX16x50 driver
Additional ver 0.3.7 + TELCOM

NET-COCK 改造版(名称不明) + Telnet <-> ComX ver 1.8c Copyrigh(C) 1997-2001
Nanshiki Corporation

以上の Telnet ホストしか動作確認を取っていません。他のホストの場合、誤動作を引き起こす可能性がある事を心に留めておいて下さい。この場合、作者は一切の保証を致しません。動作確認が取れた所は連絡して頂けるとありがたいです。

3.1.9 未読を読み終わった際の文字列の定義の制限

MAILEND の文字列(読んでいけば何の事が判ります。)は、必ず一字一句、最後まで正しく設定して下さい。さもないと、未読のあった日に未読のないアクセスをするとログが消されます。正しく設定すれば便利な機能ですが、諸刃の剣ですので気を付けて下さい。

第4章 MagicKTX_PRO の動作環境

4.1 推奨動作環境

- 1) KmTermX for Windows(WindowsNT 系推奨) 必須
- 2) KmTermX マクロコンパイラ KMC Ver1.42か又は1.43
M_Pro.mac, M_Pro.mac をコンパイルするのに必須
- 3) KmTermX マクロコンパイラ KMC Ver1.45 かそれ以上
P_Pro.mac をコンパイルするのに必須
- 4) オフラインログリーダー CockExolorer Ver1.20a 推奨
- 5) 上記の物が動作する環境 必須
- 6) 容量にメガ単位で余裕のあるハードディスク 必須
- 7) 2400 Bps 以上の回線速度もしくはインターネット接続 必須
- 8) MagicKTX 一式 (^;;;) 必須
- 9) Pentium100MHz 以上のCPU 必須

4.2 使用方法

作者の環境を例にとって解説します。

```
C:¥
|--Tool¥
    |--KmTermX¥
        |--Mac¥
```

- 1) アーカイブの内容をディレクトリ KmTermX¥ に解凍します。このディレクトリに以下のファイルがあることを確認して下さい。

```
MKTXPVS45 .pdf
def .h
sub .h
M_Pro .mac
MKTX_Pro .mac
P_Pro .mac
MKTX_Pro .net
メールが来てますよ.WAV
```

- 2) mac ファイルを kmc でコンパイルします。コンパイルオプションについてはkmc.doc を参考にして下さい。オプションなしでも動作します。最適化できないだけで、ファイル容量、速度等、チューニングが求められない場合はオプションなしでも十分です。
- 3) 拡張子が"mbc"となっているものを、KmTermX¥Mac¥ に移動します。
- 4) 第5章 環境設定に従って、各項目の環境設定を行います。
- 5) KmTermX for Windows を起動して、各種設定を行います。詳しくは KmTermX for Windows の HELP を参照して下さい。特に、アイコンのディレクトリはきちんと設定しないと操作が不可能ですので、気を付けて下さい。Telnet 接続の場合、ネットデータ編集画面からポートをTelnetに変更して下さい。電話番号を入力する欄がtelnet host に変更されましたね。ここにホストのドメイン名を入力して下さい。
- 6) KmTermX for Windows を起動し、MagicKTX_PRO を起動して設定を確認しましょう。(ダイヤルするのではなく、マクロ単体で起動して下さい。)どのマクロを起動しても、結果は一緒です。ver1.41 から、設定をする必要が無くなりました。どろさんありがとう。

これで終わりです。次にアクセスすると MagicKTX_PRO が設定された通りに半自動運転を行います。^{*2}

note

*2 これで貴方も Magic user.

第5章 環境設定

5.1 KmTermX for Windows 本体の設定

ここで説明していない所は特に重要というわけではないので、それぞれの環境に適した設定をして下さい。

5.1.1 基本設定

Zmodem自動起動は、チェックしないで下さい。マクロからパスワードを取得する、はチェックして下さい。これがなされていないと、正しく動作しません。テキストをアップロードするディレクトリは、「アップロード」ではなく、「テキスト」にして下さい。「アップロード」は設定する必要はありません。

5.1.2 ネットごとの設定

オートログイン \$M
マクロ MKTX_Pro

5.1.3 WAVの設定

オプション(0) サウンド設定(S) BeepをWAVで鳴らす、のチェックボックスをon、Beep受信時のWAVをパス+メールが来てますよ.WAVに設定して下さい。再生方法はどちらでもかまいません。

5.2 MagicKTX_Pro の設定

5.2.1 メッセージ定義について

MagicKTX_Pro は、正常な動作をするために幾つかのホストメッセージをホスト毎に登録する必要があります。これは、NetCock のメッセージのほとんどが変更可能な為です。変更する場合は次章を参考にして下さい。ここに記載されているのは、オリジナルの物です。オリジナルのままであれば変更する必要はありません。一見オリジナルのようでも大文字が小文字になっているような場合があるので、気を付けて下さい。(例: KTC-BBS の SUBPROMPT)ここに記載されている文字列はマクロにデフォルトで設定されています。変更する場合は MKTX_Pro.NET の local option で変更して下さい。

エスケープシーケンス有りで使用する場合は、エスケープシーケンスを含んだ完全な形で定義して下さい。

タイトルヘッダ

記事と記事との間に入っている線状の物です。¥t はタブを表します。

- o TITLEHEDDER = "-¥t-¥t-¥t-¥t-¥t-¥t-¥t-¥t-"

メインプロンプト

ルートのプロンプトです。

- o PROMPT = ">"

サブプロンプト

ボードの中でコマンドを受け付けるプロンプトです。

- o SUBPROMPT = "Command (?:説明):"

メールの先頭

メールの先頭部分です。

- o MAILTOP = "mail"

掲示板(KTC-BBSのみ)

掲示板に入るときに表示されるメッセージです。

- o XCHAT = "何番に入りますか？ ([RET]:終了):"

メール到着

メールがあった場合に表示される文字列です。ホストメッセージが変更されていた場合は、その都度変更して下さい。デフォルトのままであれば変更する必要はありません。

- o MAILHERE = "あなた宛"

未読なし

ボードを読み終わったときに表示される文字列です。

- o MAILEND = "==== 読み終わりました ==="

巡回終了

全てのボードを読み終わったときに表示される文字列です。

- o RNALLEND = "==== 全て読み終わりました ==="

X68Kは売っ払ってしまい、デフォルトの文字列が判りません。(汗 もしこの文字列が間違っている場合、フェールセーフ機能が働き、繋がらなくなしにはなりません。未読が無いのにログリーダーが起動するだけです。Ver2.06 からこの文字列を見てログを消すかどうか判断するので、勝手に消されたくなければ正しく設定して下さい。

5.3 MKTX_Pro.NET の設定

行中にTAB、半角SPACE、全角SPACEが入っていても無視します。また、空行があっても無視します。セミコロン";"以降は全てコメントと見なします。

5.3.1 global option:

デフォルトの設定を定義します。

```
; * 言語選択(Japanese/English) *
;===== メッセージの言語選択 =====
; 0:日本語
; 1:English
```

LANGUAGE = 0

せっかくKmTermX for Windows が日本語/英語に対応しているのに、その上で動くマクロもバイリンガルにならないと市場拡大は不可能だよね、という事で設けた仕様です。LANGUAGE は必ず設定ブロックの最初に書いて下さい。デフォルトでは日本語になっています。本マニュアルを英語に訳して下さいの方大募集。

```
;***** ハンドル定義 *****
;===== Handle =====
HANDLE = "RYUZO";
```

自分のハンドルネームを登録します。

```
;***** 動作定義 *****
;===== 接続時のウェイト =====
; 100 = 1秒 デフォルト= 50
; ID に PASS が送信されてしまう場合以外は触らない方が健康的です。(笑
```

WAIT = 50;

ID を送信する所に PASS が入ってしまうという報告を受けましたので作りました。その様な場合はこの数字を大きくして下さい。機械や回線の速度が速くなって起こる場合が考えられるので、global option で調節した方が良いでしょう。

```
;===== Host Program =====
; 0:NetCock
; 1:KTC-BBS
```

HOSTTYPE = 0;

普段自分の行くネットが NetCock なら 0 を、KTC-BBS なら 1 に設定して下さい。それ以外の数字の場合、HOSTTYPE = 0 になります。

```
;===== 巡回掲示板 (KTC-BBS 時のみ有効) =====
;(null):巡回しない; n:巡回するボード番号をずらずら書く。
```

BOARD = "123"

グローバルオプションでは指定しない方が良いでしょう。HOSTTYPE = 0 の時には意味を持ちません。"123"は、1番、2番、3番の順にアクセスする事を意味します。

```

;===== ログショート機能 =====
; 0:ログショート機能 off (通常通り)
; 1:opening,ending,Up,Pad 時のログは取らない。
; 2: 1 に加え、TITLE は 基本ファイル名 + titl.log に記録する。
;     MAIL は 基本ファイル名 + mail.log に記録する。
;     ACCESSLOG は 基本ファイル名 + log.log に記録する。
;     掲示板は 基本ファイル名 + brd.log に記録する。
;     ファイルリスト一覧表は基本ファイル名 + list.log に記録する。
;     書き逃げ掲示板は 基本ファイル名 + bye.log に記録する。

; 1 と 2 の時、オンライン操作のログは
;     基本ファイル名 + extd.log に記録されます。

```

LOGSHORT = 0;

0から順番にやっていけば、どういう物がよく分かると思います。ログのサイズがだんだん小さくなります。掲示板は KTC-BBS の時に有効な機能です。書き逃げ掲示板は改造版 NetCock で有効な機能です。ver1.31 であったタイトル出力がルートログディレクトリにできるバグは除かれました。案外簡単でした。(^^;

LOGSHORT = 0 の場合、ログに一切手を加えません。送信メールのタイトル出力も行わないので、気をつけて下さい。

```

;===== UpLoad/DownLoad プロトコル =====
; 0:Ymodem
; 1:Ymodem-G
; 2:Zmodem (KTC-BBS 及び改造版 NetCock のみ)

```

PROTOCOL = 0;

バイナリファイルを転送するのに用いられるプロトコルを指定します。NetCockでは0,1,(2)、KTC-BBS では更に 2 を指定できます。NetCock で 0,1,(2)以外を指定した場合、Ymodem に設定されます。KTC-BBS で 0,1,2 以外を指定した場合、Zmodem に設定されます。NetCockでも改造版では Zmodem が使えるようですが、チェックを外していますので、使用する際は細心の注意を払って下さい。

```

;===== マルチログディレクトリ機能 =====
; 0:マルチログディレクトリ機能 off (通常通り)
; 1:マルチログディレクトリ機能 on

```

LOGMULTI = 0;

マルチログディレクトリ機能を使うかどうかを指定します。この機能が有効になっていると、ログはサブディレクトリに作られます。ディレクトリがなければ作られません。(WindowsNT 系)local option でこの機能が無効になっているネットのログは、ルートログディレクトリにできます。

```

C:¥net¥log¥    KmTermX で指定されたログディレクトリ
| - babu¥babu0101.log    マルチログディレクトリ機能が有効
| - hart¥hart0101.log    になっているネットのログディレク
| - kbbs¥kbbs0101.log    トリ。
| - mgn¥mgn0101.log

```

```
;===== バックログ on/off 機能 =====  
; 0:バックログ on (通常通り)  
; 1:バックログ off
```

```
BACKLOG = 0;
```

KmTermX for Windows のバックログを取るかどうか指定します。バックログを offにすると、KmTermX for Windows がバックログを記録する設定になっていても、アクセス中は記録しません。その結果、ハードディスクへのアクセスが減るので文字化け、文字落ちに強い通信が行えるようになります。最近の機種では全く問題有りません。

```
;===== 切断待機予約機能 =====  
; 0:CAPS キーによる切断待機予約機能を利用しない。  
; 1:CAPS キーによる切断待機予約機能を利用する。
```

```
RESERVE = 0;
```

回線切断時に Shift KEY が押されていると切断せずに待機しますが、この機能を有効にすると、CAPS LOCK されていても待機する様にします。オンラインで何かしたいけど、遅いモデムを使っていて、いつ未読処理が終わるのか分からない、等の場合は、この機能を有効にした上で CAPS LOCK すると便利です。オンライン処理はしないと言う人は、この機能は無効にしておいた方が良いでしょう。

```
;===== 一行書き逃げモード =====  
; 0:書き逃げモード無効  
; 1:書き逃げモード有効  
; 2:書逃げ後、OFF発行
```

```
BYEBYE = 0;
```

書逃げ掲示板を使用するかどうか指定します。これを有効にした上で Shift KEY か CAPS KEYを押していると書逃げ掲示板に入ります。BYEBYE = 2 を設定した場合、自動的に OFF を発行し、リターンキーで書き込みを終了後、直ちにログアウトします。注)書き逃げ掲示板は改造版 NetCock で有効な機能です。

```
;===== アップテキスト消去機能 =====  
; 0:rename して残す。  
; 1:delete する。
```

```
UPTTEXT = 0;
```

送信後のアップファイルやパッドファイルの取り扱いを決めます。0 だと拡張子000からナンバリングされてリネームされますが、1 だと送信後直ちに消去されます。ファイルをいちいち消さなくても良くなります。

```
;===== アクセスログ閲覧機能 =====  
; 0:アクセスログを取得しない  
; 1:アクセスログを取得する。
```

```
ACCESSLOG = 0;
```

この機能を有効にすると、アクセス終了直前に LOG を実行してアクセスログを取得します。ログショート機能が 2 になっている時は *log.log というファイル名になります。

```
;===== ご挨拶メッセージ =====
LOGINMES = "こんにちは(AutoMACRO)"
LOGOUTMES = "さようなら ~ (AutoMACRO)"
```

他回線にいる人に対してご挨拶メッセージを送信します。LOGINMES は自分がログインした直後に、LOGOUTMES は自分がログアウトする直前に送信します。

```
;===== off-line log reader のファイル名 =====
LOGREADER = ""
```

他のログリーダーを使いたいという人は LOGREADER を変更して下さい。ログリーダーを持っていない、あるいはすぐに立ち上げたくないという人は、LOGREADER = ""として下さい。Windows で使用する場合、フルパスを設定して下さい。ディレクトリの区切りは、"¥"です。間違えないようにして下さい。Windows95/98 では、意味を持ちません。

```
;===== OS の種類 =====
; 0:Windows95/98
; 1:WindowsNT/2000/XP/7/8/8.1/10
```

OS = 0

使用している OS を設定します。これ以外の数値を設定すると、Windows95/98に設定されます。MS-DOSの場合は OS = 1 を指定して下さい。推奨動作環境は、WindowsNT 系です。

5.3.2 local option:

ネットごとの設定を定義します。識別子は "#" + 基本ファイル名です。

```
#kbbs
;矩形波 B B S ( 仮称 )
PROMPT = "Command Mode (?:HELP)>"
SUBPROMPT= "Command (?:HELP):"
MAILEND = "読み終わりました"
;LOGSHORT = 0
;PROTOCOL = 0
;LOGMULTI = 0
;ACCESSLOG= 0
;BACKLOG = 0
;RESERVE = 0
;DISPLAY = 0
;UPTXT = 0
;ACCESSLOG= 0
;LOGINMES = ""
;LOGOUTMES= ""
```

矩形波 B B S (仮称) では、メインプロンプトとサブプロンプトとボードを読み終わった時の文字列が異なります。

```
#yosi
;幼姿端麗の設定
PROMPT = " 幼姿端麗 Main Command(HELP=?)>"
SUBPROMPT= "command (?:説明):"
```

```

MAILEND = "読み終わっちゃったもん ミ"
XCHAT   = "何番に入るのぉ? ([RET]:終了):"
HOSTTYPE = 1          ;KTC-BBS のみ
BOARD    = "123"      ;KTC-BBS のみ
;LOGSHORT = 0
;PROTOCOL = 2          ;Zmodem
;LOGMULTI = 0
;BACKLOG   = 0
;RESERVE   = 0
;DISPLAY   = 0
;UPTXT     = 0
;ACCESSLOG = 0
;LOGINMES  = ""
;LOGOUTMES = ""

```

幼姿端麗は、KTC-BBS なので設定には注意が必要です。メッセージの変更はNetCock の時と同じ要領ですが、HOSTTYPE = 1 で KTC-BBS を指定します。

次に BOARD で読みたい掲示板を指定します。"123" というのは、1番、2番、3番の順にボードを読む事を意味します。例えば "31" だと、3番、1番を読むという意味になります。プロトコルには Zmodem が使えるので、Zmodem を指定します。

```

#ura
;うらら学園BBSの設定
PROMPT = "/main(?:help)/ "
MAILEND = "読み終わりました "
;LOGSHORT = 0
;PROTOCOL = 0
;LOGMULTI = 0
;BACKLOG   = 0
;RESERVE   = 0
;DISPLAY   = 0
;UPTXT     = 0
;ACCESSLOG = 0
;LOGINMES  = ""
;LOGOUTMES = ""

```

うらら学園BBS では、プロンプトの最後にスペースが含まれています。以前とは仕様が異なり、普通に設定できるようになりました。

この様に、アクセスするネットについて設定を行います。全てが global option と同じネットの場合は、MKTX_Pro.NET に記述する必要はありません。逆に、MKTX_Pro.NET に記載されていないネットは全て global option で実行されます。

5.4 ログリーダーの設定

ネットの基本ファイル名 + 日付 + .log のファイルを読み込める様に設定して下さい。(例:mcha980401.log ;98年04月01日のログ)ログリーダーのドキュメントに従って、そのログをきちんと処理できる様にして下さい。

5.5 ホストの設定

メニューモードはコマンドモードに設定して下さい。KTC-BBS の場合、それに加えてクックモードを使用する、ログの表示は中断しない、にして下さい。

5.6 機能の補足説明

5.6.1 ログショート機能について

KmTermX はデフォルトでは回線が繋がってから切断するまでずっと、ログがオープンになっています。私は以前 W T E R M の世話になっていたのですが、W T E R M にはログインしてからログをオープンする機能がありました。これを使うと、Host のオープニングメッセージがログに記録されないのです。頻繁に出入りする所では、このメッセージのログに占める割合も馬鹿にならないので、記録しないで済むに超したことはありません。また、ログリーダーがファイルを読み込むスピードを考えても、ログが 1 byte でも小さい方がよいのです。そこで、W T E R M の機能をぐっと押し進めて opening, ending, upload, download, ユーザー設定時など、ログを取る必要が無ければ取らない様にして極力ログを小さくする機能を作りました。

また、KTXcock のログの切り分け機能を拡張しました。切り分けられたファイル名の詳細は、ログショート機能の欄を参照して下さい。

5.6.2 発送メールのログ出力に関して

自分が出したメールは、普通ログリーダーでは読めません。しかし、前後の話の繋りを維持するには、やはり自分が出したメールも読みたいものです。そこで、自分の出したメールも読めるようにしました。ver1.36 から、仮想メールにも、自分のハンドルが出力されるようになりました。少しは読みやすくなったと思います。

5.6.3 マルチログディレクトリ機能について

KmTermX では、ログディレクトリは一つしか作ることが出来ません。しかし、複数のネットに長期間行っていると、どうしてもネットごとにログディレクトリを作りたくなってしまいます。そこで、基本ファイル名をディレクトリ名にする事により、複数のログディレクトリに対応する事にしました。

例) C:¥net¥log¥ -babu¥babu0101.log -hart¥hart0101.log -kbbs¥kbbs0101.log -mgn¥mgn0101.log	KmTermX で指定したログディレクトリ LOGMULTI on 指定したネットの ログディレクトリ
--	---

この機能が有効なネットにアクセスすると、サブディレクトリが無ければディレクトリを作り、ルートの該当ログを全てサブディレクトリに移動します。従って、インストール作業は一切不要。ディレクトリを作る必要さえありません。(MS-DOS / WindowsNT 系) また、既にサブディレクトリにインストールされた状態でこの機能を無効にすると、ログをルートログディレクトリに移動してサブディレクトリを消去します。(同上) 現在30秒取っています。30秒以内に移動が終わる自信がない人は手動で移動して下さい。ログが消えます。(WindowsNT 系のみ) Windows95/98 では、ログディレクトリを予め作成しておいて下

さい。

5.6.4 ファイル転送プロトコルについて

Ymodem-G では文字化けするので、チェックを行う Ymodem の方が良いという話を聞きました。ところが、中には Ymodem-G でも全く問題無いという人もいらっしゃる様です。そこで、複数のファイル転送プロトコルを簡単に切り替えられるようにしました。KTC-BBS の場合は Zmodem をサポートしています。ただし、Zmodem の自動起動には対応していないので、KmTermX for Windows の Zmodem 自動起動は切って使って下さい。一部の改造 NetCock ホストでは Zmodem に対応しているので、NetCock でも Zmodem を利用できるようにしました。チェックを外してますので普通の NetCock ホストで Zmodem を使用すると異常な動作を引き起こします。気を付けて下さい。Mlink に対応する予定はありません。

5.6.5 高速通信について

マイクロ総合研究所の MR560XL というモデルを使っていたのですが、接続に失敗ばかりするので、U.S.Robotics の 33600 モデムを使っています。いやー、メリケン製は良いですな。001でがしがし繋がってくれます。少しは見習って欲しい物です。そう言う事で、最近のハイスピードモデムで文字化けを起こしても誤動作しない、耐久性のあるアルゴリズムに仕上げました。まあ、実際やっている事はそんな大した事は無いのですが。

また、ハードディスクアクセスが文字化け文字落ちの大きな原因であるという話を聞いたので、バックログを使わないモードを作りました。この機能が有効になっていると、KmTermX for Windows でバックログが ON になっていても、アクセス中のバックログは記録されません。従ってその分ディスクアクセスも減ります。その分・・・という事です。しかし、最近では機械の性能向上のため、このような工夫は過去の物となっている様ですね。嬉しいのやら悲しいのやら。(笑)

5.6.6 オプションの概念について

MagickTXでは、global/local option という概念を採用しています。global option を変更すると、変更した結果は全てのネットに対して適応されます。local option は1つのネットに対してしか適応されません。この概念を採用する事で、通常の設定をネットごとに何度も書き換える必要は無くなり、特定のネットの設定の為だけに全体の設定を書き換える必要も無くなりました。

global/local option は、MKTX_Pro.NET に記述します。

global option では、動作定義を行います。定義内容については定義項目で述べた通りです。

local option では、ネットごとの動作/メッセージの定義を行います。ブロック識別子は、# + 基本ファイル名です。

global option は普通頻繁に変更することはありませんが、local option はある程度の変更を前提とした物です。option を変更する度にいちいち再コンパイルするのは非常にうっとおしいものです。そこで、global/local option は再コンパイルを不要にしました。MKTX_Pro.NET は読み込み専用ファイルです。

5.6.7 掲示板オンライン書き込み機能(KTC-BBS)

掲示板のボードを表示中に shift key を押していることにより、掲示板オンライン書き込み機能が有効になります。これは、その名の通りの物で掲示板から抜けるまでマクロは一時停止し、リターンキーを押す事で自動運転を再開します。これはKTC-BBS でのみ有効な機能です。

5.6.8 他回線監視機能について

ver1.49 から仕様が変わりました。RESERVE が on になっている時に Caps Lock していたり、Shift Key を押していると、回線の状態を表示して、手動での動作に切り替わります。オートパイロットを再開させたい場合は、Grph key(Alt)を押せば復帰します。pm とかで未読ポインタを調節する時などに便利です。pm コマンドはログリーダーで PAD を使って出来るのが理想なんですが。セキュリティを考えたらそうでもないのかな、と考えたりします。

5.6.9 セミオート回線切断機能

オートパイロット終了後、shift key 又は CAPS ON(RESERVE = 1 の時)で回線を切断せず待機しますが、オンラインでの作業終了後、Grph key(ALT)を押すと自動的にログアウトを行います。この機能によって、オンラインでも速やかな終了動作ができます。

5.6.10 手動で起動した場合について

マクロを手動で起動すると、global option と設定のリスト、それと作者からの愛のメッセージ (^_^; が表示されます。実際に通信を始めるまでにここでオプション等の確認をしておきましょう。

5.6.11 バイナリメールについて

本来、バイナリメールは NetCock では使えないのですが、多くの方のご尽力により、バイナリメールに対応した改造版が作成されています。今回はその内、NetCock Quintet C と呼ばれる物に完全対応しました。この他の物でも送受信が可能なタイプは幾つか存在するようです。ver1.28+ では殺していた KTC-BBS のバイナリメールも復活しました。これで快適なメール生活が送れます。(^^; 現在動作確認をしているのは、矩形波 B B S (NetCock 3.6 Quintet C.)です。

5.6.12 KTC-BBS のログイン時について

KTC-BBS では、未読がない場合、書き込む事ができないと言う不具合の有るバージョンが存在しました。現在の物は改善されているようですが、回避策として、2番のボードにタイトル無しでの書き込みを行います。(当然エラーで弾かれます。)現在ではほぼ無意味な機能ですが、念のため残してあります。

5.6.13 キー入力によるMagicKTX_Pro 制御一覧

MagicKTXは、オートパイロット中に任意のキーを押すことによって特殊な動作をします。ここでは、いつ、どのキーを入力すると、どのような動作をするかまとめます。

入力キー	入力する時	動作内容
Shift Key	ログイン直後	"LLIST" を実行し、手動動作になる。
	掲示板閲覧中 (KTC-BBS)	一時停止し、オンライン書き込みモードになる。リターンキーでマクロが再開する。
	ログアウト直前	回線を切断せず、オンライン待機を行う。
		BYEBYE = 1 の時に書逃げ掲示板を利用する。
GRPH Key (ALT Key)	手動動作時	自動に切り替える。
	オンライン待機中	ログアウトの処理を行う。
CTRL Key	ログアウト直前	"LOG" を実行し、アクセスログを取得する。
CAPS Key	任意の時点	RESERVE 機能が有効になっていた場合に、手動に切り替わる。
		BYEBYE = 1 の時に書逃げ掲示板を利用する。

第6章 PAD

6.1 PADとは

PAD という言葉が何回か出てきましたが、これはマクロの挙動をキーワードで表した物です。PAD を書いたファイルを PAD ファイルと呼びます。PAD ファイルを書く事で MagicKTX_PRO はより細かな動作をすることができるようになります。MagicKTX では、KTXcock のPAD 仕様に完全準拠し、CockTailで拡張された仕様に一部対応しています。

6.2 PAD を使ってできる事

```
*D   ダウンロード
*DB  バッチダウンロード
*U   アップロード
*UF  フォローアップロード
*UM  バイナリ/テキスト混在ボードへのアップロード
*UMF バイナリ/テキスト混在ボードへのフォローアップロード
*US  IDリスト取得
*L   ボードリスト取得
*HA  ハンドル、住所等変更
*SCAN 読み込みボード設定
*PROF ユーザーデータ取得
*T   KTC-BBS の掲示板への書き込み(KTC-BBS)
*B   バイナリメール送信(改造版 NetCock)
*W   ボードへの書き込み
*G   バイナリリスト取得(ファイルリストのみ)
*V   バイナリリスト取得(フルサイズ)
*PM  リードポインタ移動
```

以下の PAD には対応していません。

```
*M メールを書く
*R レスポンスをボードに書く
```

これらは CM/CE を使って書く事ができるので、それらを使用していれば問題は有りません。これらの PAD に対応する予定はありますが、後回しになる運命なのでいつ出来るか分かりません。

6.3 PAD の書式

書式は次の通りです。

```
*?   動作キーワード
動作内容1 動作キーワードによって違う。
動作内容2
...
```

```
.   ピリオドで終了
*?
動作内容3
動作内容4
...
.   ピリオドで終了
```

6.4 PAD の文法

6.4.1 ダウンロード

```
*D
ボード名
番号
...
...
.   ピリオドで終了
```

PROTOCOL で設定されたプロトコルでダウンロードします。ボード名の頭の"¥"は必要ありません。同じボードにある複数のファイルをダウンロードします。バッチリスト登録の限界を越えて番号を指定した場合、越えたファイルはダウンロードされません。

6.4.2 バッチリストによるダウンロード

```
*DB
```

バッチリストに登録されたファイルを PROTOCOL で設定されたプロトコルで一括ダウンロードします。

6.4.3 アップロード

```
*U
ボード名
フルパスファイル名
ファイル名のみ
タイトル
説明文
...
...
...
.   ピリオドで終了
```

PROTOCOL で設定されたプロトコルでアップロードします。ボード名の頭の "¥" は必要ありません。ボード名にバイナリボードでないボードを指定した場合の動作は保証されま

せん。

6.4.4 フォローアップロード

```
*UF
ボード名
フォローするア－ティクル番号
フルパスファイル名
ファイル名のみ
タイトル
説明文
...
...
...
.   ピリオドで終了
```

PROTOCOL で設定されたプロトコルでフォローアップロードします。以下、*U に準じます。

6.4.5 バイナリ/テキスト混在ボードへのアップロード

```
*UM
ボード名
フルパスファイル名
ファイル名のみ
タイトル
説明文
...
...
...
.   ピリオドで終了
```

バイナリ/テキスト混在ボードへ指定されたプロトコルを使用してアップロードします。以下、*Uに準じます。

6.4.6 バイナリ/テキスト混在ボードへのフォローアップロード

```
*UMF
ボード名
フォローするア－ティクル番号
フルパスファイル名
ファイル名のみ
タイトル
説明文
...
...
...
```

. ピリオドで終了

バイナリ/テキスト混在ボードへ指定されたプロトコルを使用してフォローアップロードします。以下、*Uに準じます。

6.4.7 IDリスト取得

*US

ID番号 1 から最後までを一気に取得します。実行中のログは切り分けられずにログファイルに取られます。

6.4.8 ボード一覧の取得

*L

BREAD コマンドで読むことのできるボードの一覧を取得します。ユーザーレベルが低い場合は全てのボードタイトルを取得できない場合があります。実行中のログは切り分けられずにログファイルに取られます。

6.4.9 ハンドル名の変更

*HA
簡単な自己紹介(40bytes以内)
男性ならば"Y"、女性ならば"N"
ESCシーケンスを使うなら"Y"、使わないなら"N"
新しいハンドル名(20bytes以内)

一部の情報がホスト側から取得できないため、その情報も書き加えるようになっていきます。また、長さのチェックは行なっていません。簡単な自己紹介の部分を変更したくない場合は改行のみにしておけば変更しません。最後のピリオドは必要ありません。

6.4.10 RNALL コマンドで読むボードの設定

*SCAN
No.1のボードをリード設定にするなら"Y"、しないなら"N"
No.2のボードをリード設定にするなら"Y"、しないなら"N"
...
...
...
No.nのボードをリード設定にするなら"Y"、しないなら"N"

No.0「MAILBOX」は必ずリードしない設定になります。全ボードのリード設定をしない内に PAD が終了した場合、残りのボードは全てリード設定にされます

6.4.11 ユーザーデータの取得

```
*PROF
ユーザーデータを知りたい人のハンドル名またはID
...
...
...
.   ピリオド
```

実行中のログは切り分けられずにログファイルに取られます。

6.4.12 掲示板の書き込み

```
*T
掲示板の番号
掲示板へ書き込む内容
.   ピリオド
```

掲示板は KTC-BBS のみ有効です。複数の掲示板に書くときは、複数回 *T を実行して下さい。

6.4.13 バイナリメール送信

```
*B
送信先ID番号
フルパスファイル名
ファイル名のみ
説明文
.....
.....
.....
.   ピリオド
```

ver 1.28+ から NetCock 改造版のバイナリメールに対応しました。複数人にメールを送りたい場合は、ID番号をスペースで区切って書いて下さい。ここらへんは、CM にやってもらおうと楽です。(^^; CEでは一人にしか送信できません。

6.4.14 ボードへの書き込み

```
*W
ボード番号
```

タイトル
記事
.....
.....
.....
. ピリオド

バイナリボードで使用した場合の動作は保証されません。

6.4.15 バイナリリスト取得（ファイルリストのみ）

*G
バイナリボード番号

これは、ファイルリストのタイトルだけを表示する物です。ボード内のファイルが多いときなどに使うと便利です。複数のボードのリストが欲しい場合は、複数回 *Gを実行して下さい。

6.4.16 バイナリリスト取得（フルサイズ）

*V
バイナリボード番号

こちらは、ファイルのテキスト部も一緒に表示します。また、普通のボードでも使用可能なので、例えばシステムインフォメーションなどを読むときなどに便利です。複数のボードのリストが欲しい場合は、複数回 *V を実行して下さい。

6.4.17 リードポインタ移動

*PM
yy-mm-dd(例:98-01-01)
hh:mm(例:00:00)

リードポインタを移動します。一部の改造ネットでは、フォーマットが違う場合がありますが、2行目と3行目をそのまま送信しているだけなので、それぞれ対応したフォーマットに直して書き込んで下さい。たまに、現在の日時を予め表示するホストもある様ですが、^Aを送信して消去しますので何も考える必要はありません。

第7章 その他いろいろ

7.1 開発環境

以下の環境で開発しています。

Hardware	Software
iiyama Level i7-6600HQ	MicroSoft Windows10 KmTermX for WindowsNT/95 KmTermX Macro Compiler(KMC) ver.1.47 秀丸エディタ64bit ver.8.89 ntf ver.2.233 CockExplorer ver.1.20a ランダムシグネチャ ver.1.01

7.2 連絡先について

mixi、FaceBookは現在利用していません。
HP:<https://ryuzoji-tohru.sakura.ne.jp/>
E-mail:tohru.ryuzoji2@gmail.com

感想、不満、問題点何でも結構です。あなたの声を聞かせて下さい。

7.3 転載について

MagicKTX_Pro はシェアウェアです。公開するのはソースコードのみとし、バイナリは配布されません。転載に際しては、このアーカイブの内容を変えずにそのまま転載して下さい。転載に際し作者までご連絡頂ければ、手数料(サーバーや回線の代金、利益等)を取る事を認めます。

なお、KMC ver 1.47は非公開版ではありますが、ご購入頂いた顧客様にはダウンロードページを無料にてご案内させていただきます。一言言わせて頂ければ、KMC ver 1.47をtelnet環境でご利用頂いた場合、セキュリティに重大な欠陥があります。ただし、元々telnetと言うのが情報ダダ漏れの世界なので、重大な物と言えるのかどうか分かりません。セキュリティを気にするがどうしてもtelnetで利用したいという方は、KMC ver 1.42を自力でご用意下さい。サポートサイト supportyourapp.com に問い合わせさせて頂ければ、お力になれるかもしれません。KMCに関しては、作者であるふなやん様に問い合わせして下さい。コンパイルオプション等、KMCに関する問い合わせには応じられません。ファイル容量、速度など最適化を必要としなければコンパイルオプション無しでも差し支えありません。

NTT では、セキュリティが必要な顧客様向けにVPN(Virtual Private Network)を提供しています。また、有償ではありますが、VPNを組み込んだApatch(WebServer)も提供されています。セキュリティを気になさる場合は、NTTにも合わせてお問い合わせ下さい。

ただし、VPN のセキュリティは暗号化による物なので、復号化の可能性は存在します。特にアメリカ NSA(国家安全保障局)による盗聴を防ぐには、古いタイプのモデムを利用し、zip / 7zip 等のパスワードを利用するなどして下さい。個人的には、もうモデムを利用しなくても VPN + パスワード zip(7zip)で十分だと考えています。スーパーコンピューターを並列で利用しても1か月くらい掛かるのではないのでしょうか。

7.4 著作権について

KTXcock.doc より抜粋

KTXcockはフリーウェアです。著作権はHi.Matuこと松本英夫が所有します。このソフトウェアの動作について、作者は一切の保証をいたしません。改良、改悪は大いに結構ですが、そのバージョンを公開する場合は改変者、改変点を明記した上で公開してください。その他の点についてはKmTermXに準拠します。

MagicKTX_PRO の著作権は RYUZO、RYUZO こと龍造寺 徹が所有します。

MagicKTX_PRO の動作について、支払って頂いた金額の 80%までの補償を行います。保険に加入した場合はこの限りではありません。支払った金額以上に返って来る場合も在るという事です。しかし、改変された物に対してはこの補償はありません。ゲーム等で一部を再利用した場合、(その他の場合も含む)該当部のロジックが改変されていなければ、この補償は有効です。明らかにこちらの手落ちによる場合は支払いに応じますが、コピー&ペーストの間違いによる不具合の場合は支払いには応じられません。

ちなみに、はやぶさに搭載された実績があります。三菱重工業製のロケットは、連続で30回程度打ち上げに成功しています。また、中国製新幹線、日本のJRの新幹線にも搭載されています。自衛隊でも全ての兵器に使用されています。自衛隊は一円も払わないどころか抹殺しようとはしますが。

著作権無き商標登録は無効です。反論がある場合、法廷でお会いしましょう。和解はしません。改変については改変者と改変点を明記して下さい。

7.5 シェアウェアについて

このマクロを制作するに当たり、結構な金額を出費しています。理由は簡単、テストをする度最低 10円 NTT に持って行かれるせいです。しかし、時代は変わりました。インターネットの Telnet 利用により、毎月定額料金での草の根アクセスが実現したのです。また、このバージョンはプロフェッショナル版であるため、以前のバージョンの物と価格体系が大幅に変わっています。以下に記述しますので、注意して読んで下さい。

以下に記述する金額は税別です。実際には日本国内での販売には消費税額が上乗せされます。価格は予告なく変更になる場合があります。多くの場合、価格は引き下げられます。

義務教育以下の年齢(15歳以下)が利用される場合、いかなる場合も無料とします。教育、知育教材、その他の利用の際にも請求はされません。この場合の教育とは、幼稚園、保育園の連絡も含みます。該当する企業はこの方針に沿って価格を決定して下さい。

自衛隊が利用する場合、月に10億円とします。

広告代理店等がビッグデータの活用に利用される場合、月に3,000万円又は30万ドル又は30万ユーロとします。

各CATV会社、NHK、有料での放送向け(日本国外含む):

1回線当たり月に 200円又は 2ドル又は 2ユーロ支払う物とします。NHKも同額を支払う物とします。

ボウリング、カラオケ、レンタル等の不特定多数による店舗での利用について:

1店舗当たり月に3万円を支払う物とします。

DMM に対して

DMM は無償での利用を認めます。理由は、DMM は社会的弱者(所謂すねに傷持つ身)の人達によって運営されており、更生、生活の維持、社会的平穩の為に彼らをサポートする必要があると考えるからです。

通信販売業界、カード会社向け(与情報管理等):

ソースは月に 1億円又は 100万ドル又は 100万ユーロで業務処理に提供します。アマゾンのようにアメリカ、EU、日本など、支店が国によって存在する場合、支店舗あたりで請求いたします。アマゾンのスーパーは設備として大規模に利用しているので、1店舗が1支店に相当する物とします。アマゾンの倉庫にも倉庫一か所あたり月に 1億円又は100万ドル又は 100万ユーロの支払いが必要です。社員のコミュニケーションツールとしても利用している場合、別途社員の数だけライセンスが必要です。

ジャパネットたかたの様な電話オペレーターによる通信販売の場合、オペレーターの数(一人につき1ライセンス)x毎月5,000円又は50ドル又は50ユーロとします。

クラウドデータサービスへの利用について

月に1億円又は100万ドル又は100万ユーロとします。マイクロソフトは無料です。

コンビニ等の小規模店舗小売り向け:

1店舗当たり、月に5,000円とします。レジの料金を含みます。ATM の料金は銀行に請求します。セブンイレブンの様なクーポンへの利用は、データベース(MySQL)の料金として徴収しているので不要です。請求先は、フランチャイズ本部です。

スーパー等のレジで使用される場合:

レジ1台当たり 2,000円又は 20ドル又は 20ユーロ請求します。請求先はレジスターメーカーです。

中国での利用:

中国国内での利用は卸価格の 3% とします。中国から外国へ輸出される製品の卸価格の 4% を請求いたします。中国製オンラインゲームの場合、中国国内の課金総額の3%、中国国外の課金総額の 4% を請求いたします。アマゾンやアリババが中国で操業した場合、卸価格の 2% を請求いたします。日本やアメリカのメーカーが中国へ産業用ロボット等を販売する場合、卸価格の 3% を請求いたします。請求先はメーカーです。

ETCでの利用:

1回の利用につき、 100円又は 1ドル又は 1ユーロ請求します。中国は10円といたします。

ゲームセンター用筐体ゲーム業界向け:

ソースは1タイトル当たり 500万円か又は 5万ドル、又は5万ユーロで提供いたします。家庭用据え置き機並びに小型端末には 1ライセンス 1,000円又は 10ドル又は 10ユーロで提供いたします。月額課金オンラインゲームには 1作品当たり月額 300万円又は3万ドル又は 3万ユーロで提供します。ただし、ゲーム依存症の懸念から、基本料金無料のオンラインゲームには 1タイトル当たり 3億円又は 300万ドル又は 300万ユーロで提供いたします。

データベース向け:

エンタープライズ版データベースエンジンへの利用は、 1ライセンス当たり 1億円又は

100万ドル又は100万ユーロとします。一般的な用途で、有償の物については1ライセンス当たり1,000円又は10ドル又は10ユーロとします。無償の物(MySQLの非商用ライセンスなど)については無償で提供いたします。

パッケージゲームには、そうですね、1タイトル3,000万円又は30万ドル又は30万ユーロといたします。

県や国、自治体が利用する場合、地震や洪水対策用の物は無料としますが、それ以外の物については1ライセンス当たり月に2,000円とします。ただし、BBSによるサポートは無料で行います。

一般ソフトウェアは1ライセンス当たり販売卸価格の1%、家電等には販売店卸価格の2%を請求します。ダイハードルーチンに関しては、別に一律1,000円又は10ドル又は10ユーロ請求する物とします。

開発者個人が社内でコミュニケーションツールとして使用する場合は、
この場合には、一人につき1ライセンスが必要です。この場合、ライセンス料は一人5,000円又は50ドル又は50ユーロとします。

警備用カメラ、監視カメラ、レコーダー、通報装置等：
これらの物については、一台当たり月当たり300円又は3ドル又は3ユーロとします。

プロバイダ、携帯キャリア、携帯電話向け：
1ライセンス当たり、月に200円又は2ドル又は2ユーロ請求します。携帯電話は1台当たり2,000円又は20ドル又は20ユーロとします。モバイルルーターは携帯電話と同じとみなします。

ホームページホスティング業者向け：
1ユーザー当たり、年に100円又は1ドル又は1ユーロ請求します。請求する日付は毎年4月1日(銀行が休みの日の場合は翌営業日)とします。

プログラムの教科書(テキスト)としての利用を希望される場合は、
学生1人当たり5,000円とします。ただし、卒業後、コードの再利用を希望される場合は上記の価格体系に従うか、必ず協議を行って下さい。経営状況によっては半分現金半分手形も認めます。サポートはありません。プロなら自力で解析して下さい。

医療機関向け：
一施設 サポート付きで300万円又は3万ドル又は3万ユーロとします。ライセンス数の上限とかは特に設けません。

医療機器向け：
緊急目的以外の機器には1台当たり5万円又は500ドル又は500ユーロとします。

報道各社向け：
自然災害、紛争地域等での緊急性が高い物への取材活動を行われる方には無償で提供、サポート致します。その他の利用の場合、ライセンス料は一人当たり5,000円又は50ドル又は50ユーロとします。

銀行が利用される場合：
銀行向けには、1か月に1億円とします。ATMが多い方が一台当たりのコストは下がるという意味です。ジャパンネットバンクも月に1億円支払う事になります。

ファミポートのようなコンビニ専用端末は、取扱金額が少ない事もあり、コンビニの利用料(店舗当たり月5,000円)に含みます。宝くじに利用される場合、1回の宝くじ当たり1,000万円か、10万ドル、又は10万ユーロとします。

業務用デジタル電気メーターに付いて:

電気メーター用途は一台あたり月 300円又は 3ドル又は 3ユーロとします。

デジタルバルブに関して:

デジタルバルブへの利用は、 一台あたり、 3,000円又は 30ドル又は 30ユーロとします。

鉄道に関して:

鉄道での利用は、車両一台あたり 100万円又は 1万ドル又は 1万ユーロとします。

航空機に関して:

航空産業へは、複数のエンジンを持つ飛行機一機当たり、1億円又は 100万ドル又は100万ユーロとします。単発の飛行機(民間のヘリコプター含む)は1機当たり 500万円又は 5万ドル又は 5万ユーロとします。飛行場の管制塔には 1か所当たり 1,000万円又は 10万ドル又は 10万ユーロとします。ドローンに関しては販売価格の2%とします。

船舶に関して:

船舶には、全長50m以上の船舶に対しては一隻当たり 1億円又は 100万ドル又は100万ユーロ、50m未満の船舶に対しては一隻当たり 50万円又は 5,000ドル又は 5,000ユーロとします。航路を管轄する設備は 1か所当たり 1,000万円又は 10万ドル又は10万ユーロ支払う物とします。

宇宙産業に関して:

宇宙産業については、ロケット1基当たり 100万円又は 1万ドル又は 1万ユーロ、管制ステーションには 1か所当たり 2,000万円又は 20万ドル又は 20万ユーロとします。

信号機に対して:

鉄道の信号機、自動車の信号機問わず、一台あたり月に 100円又は 1ドル又は1ユーロ請求する物とします。点滅信号機(自動車用の2眼の奴)に対しては簡単なタイマーで実現できると思うので、対象外とします。警察からの支払いの遅延損害金は年複利20%、損害賠償が年複利20%、遺失機会損害金が年複利20%、慰謝料が年複利20%を請求します。1993年1月からです。

Linux ディストリビューター向け:

各 Linux ディストリビューターは利益を目的とした法人ですが、その利益はサポートや開発、メンテナンス等に大きく利用されていて、実態としてはボランティアに限りなく近いので、各 Linux ディストリビューターへはソースコードの無償提供を行います。仕様に関しては Linas 氏に一任する物とし、できるだけ派生物が出ない様コントロールして下さい。

自動車業界向け:

自動車一台あたり 5,000円又は 50ドル又は 50ユーロを請求いたします。一台で何ライセンス使っても構いませんが、利用があれば支払いの対象となります。

データロガー等メーカー様:

システムの販売価格の 1%を請求いたします。

産業用ロボット向け:

1関節につき 1,000円又は 10ドル又は 10ユーロとします。アクチュエーターは 1スライドにつき 1,000円又は 10ドル又は 10ユーロとします。

パソコン向け:

マザーボードは1ライセンス当たり 500円又は 5ドル又は 5ユーロとします。CPU への利用は、アップルとインテルはクロスライセンスにより無料、他のメーカーは 1個当たり 1,000円又は 10ドル又は 10ユーロ支払う物とします。メモリへの利用は、1枚当たり 100

円又は 1ドル又は 1ユーロとします。OS への利用は、マイクロソフトはクロスライセンスにより無料、Linux は CopyMiddle により無料で提供されます。HDDへの利用は 1台当たり 100円又は 1ドル又は 1ユーロ、SSD 向けには 1台当たり1,000円又は10ドル又は 10ユーロとします。

発電所向け:

原子力発電所向け計器一台当たり月に1万円又は 100ドル又は 100ユーロとします。火力発電所は一台当たり 5,000円又は 50ドル又は 50ユーロです。

その他の一般企業向け:

特定の個人一人 1ライセンスで 1ライセンス 5,000円又は 50ドル又は 50ユーロでサポート無し(BBSによるサポートのみ)、1企業あたり 2億円で改造のテクニックの紹介、バグの入りやすそうなコードの解説、その他出張質問コーナー付き(回数は適時)サポートかのどちらか好きな方を選んで下さい。

クレジット表示の義務:

クレジット表示は、第1章に記した通りとします。オンラインヘルプかマニュアル、又はソースコードに記入して下さい。基本料金無料のオンラインゲームの支払いが要求されるのは、リリース時と大型アップデート時です。現在クレジット表記が行われていない場合、直ちに表記を行って下さい。クレジット表示が適切に行われていないと言う理由だけで提訴する可能性があります。この事は忘れないで下さい。

領収書が必要な場合:

予め書留封書にてご連絡の上、振り込んで下されば追って領収書を発行致します。2020/01/01 現在、私が印鑑を押した書留は皆無です。もしあれば偽造された物です。

価格が円建て/ドル建て/ユーロ建てになっているので、支払い元企業の所属する国の本社の通貨といたします。米国とユーロ、日本以外の国の場合、円による支払いを求めます。

裁判で支払いを求める場合:

遅延損害金は複利で年 20%、損害賠償は複利で年 20%、慰謝料は複利で年 20%、それぞれの時効は30年間です。裁判で争う場合は判決終了の翌日に現金でお支払い下さい。

ライセンスが有効になる時:

当ソフトウェア/コードの利用を開始した時、上記のライセンスに同意した物と見なします。同意できない場合、速やかに利用を停止してお使いのコンピューターからコードを削除して下さい。支払い請求書が届いてから2ヶ月以内に支払いが行われなかった場合、無条件に債務は回収される物とし、債務者は異議を唱える事はできない物とします。裁判に持ち込んだ場合、債務者に裁判費用の支払いを無条件に求めます。繰り返しますが、同意できない場合、速やかにコードは破棄して下さい。ただし、支払いに速やかに応じて頂ける場合は当方も鬼でも何でも無く、取引先を破滅させる為にプログラムを書いている訳では無いので経営状態やその他場合によって柔軟に対応致します。

7.6 堅牢度について

私が考案したエラーコレクトルーチンは、既にMNP2で考案されていた物でした。(古そうして、不定長な文字列で縦のチェックサムを計算する事ができない KmTermX では、エラーチェック、エラーコレクトはこれが限界だと思いますが、固定長ならばチェックサムをデータの中に含ませる事で、さらに堅牢なシステムができると思います。機械語をやった人ならお馴染みの、あれです。中国の鉄道の事故は案外 MagicKTX をコピーしたせいかもしれません...、などと大がかりなバグだしを国家単位と人命かけてやってくれてありがとう。(汗

エラー回復ルーチンは、マザーボードメーカーがダイ・ハードだ、と一生懸命採用して

くれています。嬉しいですね。ダイ・ハードって言うのは映画の商標なんだけど、使ってもいいのかな??日本の法律では関係のない分野だと使ってもいいんだけど。(例: Sonyのサンダルとか)アメリカや台湾ではどうなっているのかな??

7.7 振込先

7.7.1 by in English or another

SupportYourApp.com
hi@supportyourapp.com

Sales representative in California:
James Norris 299 Stage Road, Pescadero, CA 94060 +1.650.996.2875
Delaware Office:
Daria Leshchenko 1521 Concord Pike, Suite 301, Wilmington, DE 19803
USA+1.678.255.2579

Head service office in Kyiv:
Ann Kuss 11 Kryvorizhska Str. Kyiv, Ukraine+380.63.344.5613

7.7.2 日本語によるサポート、支払先

tel: 090-2897-3833 (NTT docomo)
FAX: 089-992-9084 (NTT docomo 光)
〒790-0065 日本国愛媛県松山市宮西1丁目8-24 レジデンス矢野106号
龍造寺 徹

クレディスイス銀行 東京支店までお問い合わせ下さい。

三菱UFJ銀行 広島中央支店 普通口座 0061839 リュウゾウジ トオル

みずほ銀行 松山支店 普通口座 2143383 リュウゾウジ トオル

<https://ryuzoji-tohru.sakura.ne.jp/>
電子メール tohru.ryuzoji2@gmail.com

7.8 補償内容

7.8.1 日本語表記による補償内容

当ソフトは、ホストシステムに NetCock/KTC-BBS を採用したシステムのクライアントとして動作するオートパイロットマクロです。プログラムの不具合による不利益に対しては支払って頂いた金額の80%までの補償を行いますが、改変された物に対してはその限りではありません。ただし、ロジックに手を加えていない場合、補償の対象になります。また、保険に加入した場合、支払って頂いた以上の金額が返ってくる可能性があります。

NetCock/KTC-BBS を動かす為に必要な環境、インストール、運用に関しての質問にはお答えしかねます。それぞれ、開発者の連絡先をご自分でお調べになり、ご自分で連絡を取ってご自分で対処し、ご自分の責任において結果に責任を持ち、ご自分の意思と決意の元、導入を行って下さい。ただし、特例として KmTermX for Windows の利用方法

(MagickTX のインストール方法)に関してのみ、サポートを行います。ご理解の上、ご協力宜しくお願い致します。

7.8.2 My Responsibility written in English.

We would suggest NetCock/KTC-BBS system as host system, and client autopilot Macro running. Reducing income caused by incompletely developping programs would bring return as 80% you paid, be changed programs would bring nothing. But my logic would stay there, it would be covered by my warranty. If you would join in warranty by warrant company, it could be returned more than you paid.

And We could not support about NetCock/KTC-BBS embiloments needed, installing, running. You would have to search how to contact developpers every each, and You would have to contact and treat by yourself, You would have to hold responsibility for result, You would have to install under your willness and deciding. But for exception, how to use KmTermX for Windows(about how to install MagickTX_Pro)only would have been supported. Would you please you to understand this and supporting for you??

7.9 謝辞

矩形波 B B S の Ganzy さんと G A E さんには動作テストにご協力していただき、ありがとうございました。

たーぼうさんには動作テストにご協力していただき、ありがとうございました。

- ・Multi-Log Directory 機能は、たーぼう氏の発案により実現しました。
- ・回線切断待機予約機能は、Z A T 氏の発案により実現しました。
- ・電話料金算定に関する改善は、O P P O S I T E 沢広氏の発案により実現しました。
- ・送信メールのログ出力機能、チェックインライン機能、ご挨拶メッセージ送信機能の各機能は、M U M I N さんの発案により実現しました。
- ・KTC-BBS での電報出力、掲示板オンライン書き込み、DISPLAY の機能拡張の各機能は、雪印あいす さんの発案により実現しました。
- ・生ログ保存機能は、マックスさんの発案により実現しました。
- ・Telnet対応については、日本農園さんにご助言を頂きました。
- ・チェックサムに関する考察は、中華人民共和国国営鉄道会社の事故から導き出されました。また、米国におけるトヨタ自動車製プリウスの誤動作事故も参考にしました。ボーイング社の737墜落事故は、閾値を超えてリトライに入った結果、無限ループで加熱し、爆発を起こした物と思われます。閾値を調整すれば大丈夫です。

KTXcock の Hi.Matu さん、CockMate の G A E さんには色々な助言を頂きました。貴重なご意見を頂き、どうもありがとうございました。

このマクロを作るのに当たっては色々勉強させていただきました。

WTERM	Copyright(C)H. INOUE & TOMTOM
KmTermX	Copyright(C)kim
KmTermX for DOS/V	Copyright(C)kim, DAIJU
KmTermX for Windows	Copyright(C)晴天工房/kim
NET-COCK	Copyright(C)と・とら
NET-COCK chacha	Copyright(C)まげわっぱ1号
KTC-BBS	Copyright(C)こんちゃん
CockMate	Copyright(C)G A E
CockLife for DOS/V	Copyright(C)てんぽく

CockExplorer	Copyright(C)okaz(あばると)
ntf	Copyright(C)新島智之(PoorTom)
KMC	Copyright(C)ふなやん (funayan)
KMCguide	Copyright(C)Hi.Matu

そして、お手本となった、

KTXcock: KmTermX autopilot macro for NET-COCK host.
 For KmTermX & NET-COCK users.
 Copyright (C) 1993 Hi.Matu at ASI technology and art.

カンパして下さった皆さん、そして以上の作者の皆さん、そしてその作者さん方を支えてこられたネットワークの皆さん、また今まで MagickTX を使って頂いた皆様に心から感謝いたします。

7.10 あとがき

以前はドキュメントを書くのが苦痛だったけど、最近は逆になってます。テストを繰り返せど正常に動作しないマクロと格闘するより、ドキュメントを書き上げる方が楽しくなってきました。バージョンアップを重ねて、より複雑さを増すマクロに対して、より完成度が上がっていった手を入れる箇所が少なくなるドキュメントとでは、比較の対象になりにくいのかもしれません。

このマクロの製作を通じて色々な人とお話をする機会が得られました。やはり、なかなか世間という物は狭いようで広く、広いようで狭い。自分が予想だにできなかった考え方をする人もいらっしゃる、同じ疑問について考えている人がひょこっと現れる。やはり、ネットの魅力とはそういった人との出会いの魅力なのかもしれません。

マクロを作り始めてもう25年余が経ちました。月日の経つのはまったく早い物です。通信統合環境を実現するという目標掲げて一貫して機能向上に努めてきましたが、目標はある程度達成されたのではないのでしょうか。

このマクロがあなたのネットワークをさらに快適な物にし、更にあなた自身がその快適さを実感して頂ければ、作者としてこれ以上の喜びはありません。是非感想を聞かせて下さい。こんな機能が欲しいという要望がありましたら、なお結構です。是非是非よろしくお願い致します。m(____)m

遂に、KmTermX for WindowsNT/95 に正式対応しました。いやあ、ここまで来るのは長かった。^^; 機械のスピードが速くなるだけで全く動かなくなってしまうのですから、プログラミングとは奥の深いものであると再認識しました。

これで最後と言いつつ、またバージョンアップしてしまいました。(笑 KmTermX for Windows のみの対応で、DOS版はログリーダーも含めてサポート外となりました。これも時代の趨勢だと思って、諦めて下さい。CockExplorer も開発が終了してしまいました。草の根の環境は閉塞の時代へと向かっています。時代はインターネットとは言え、寂しさを感じます。

メール到着時の音声を集めたファイルを公開しています。一度、お試し下さい。著作権的には確かに問題があるのですが、代償として DVD nPass マスターエンコードの特許案件譲って、使い道として声優養成学校作るよう助言したからいいんです。苦情があれば遠慮なくどうぞ。文句を言う人は(声優すら)いないと思うけど。井上喜久子さんは永遠の18歳と言う称号を貰ったくらいだし。

最終最終といいながら、ずるずるとここまで開発を進めてまいりました。改めてソースを見ると、なんでここはこんな風にしたんだろう、と思う所がいっぱいあり、恥ずかしい思いで一杯です。

いやー Telnet っていいですね。課金無しで使い放題です。皆さんにもぜひ、この快感を味わって頂きたい物です。それでは今度こそ本当にお疲れ様でした。m(____)m

やっと最後のバグ出しが終わりました。いやー、仕様書はきっちり書かないとダメですね。(お これで、胸を張って最終版をリリースできるかと思うと、感無量です。しかし、

このバグの報告が無いと言う辺りが、無念です。(汗 気付いてしまえばあっという間に直るバグだったんですが、なかなか気が付かない物ですね。あのにらめっこはなんだったんでしょうか。(笑

もう開発は終わったんだ、終わったんだ、と自分を抑えてきましたが、毎日使う物だけに、どうしても許せない仕様という物の方が強かったんです。ええ。(お もう、未読が無いのにログリーダーが立ち上がるという事は有りません。これで、いいよね、も、終わってもいいよね...(涙

実に2年振りのバージョンアップです。公開するかどうか、ちょっと迷ったのですが、やはり、ソフトウェアと言う物はみんなが使ってこそ意味がある物だと思うので、公開する事にしました。地味な改良ですが、こういう物の積み重ねが大事だと思っているので。何人使ってくれるか判りませんが、ずずい、ずずいと。

もう手を入れる所はあるまい、と思っていたのですが、まだありました。(汗テストを十分にしないからこんな事になる...。それでは、付き合っていて、ありがとうございます。m()m

私が知らなかった Telnet ホストがあったので、頑張って対応してみました。少しは喜んで貰えるかな...(笑

割と需要がありそう、という事なので、入院中に構想を暖めていたプロフェッショナル版をリリースする事になりました。最後の最後で申し訳ないのですが、脳内動作確認バージョンです。

英語圏の方で利用されたい方がいらっしゃった場合、ライセンスが気になると思うので、ライセンスの部分をドキュメントの最上位に持って行き、かつ英語でも併記いたしました。ふるってご利用下さい。

中国は先進国の仲間入りをアピールしたい気持ちは分かるが、もう少し地に足を付けた国家運営をやってもらいたいです。信頼性の評価ができないのなら、日本のJR に評価を依頼するとか...。ぱくった上に日本にその評価を依頼する、と言うのは恥ずかしいかもしれないが、皆そうやって成長してきたんだよ。

今更ながら、Google Chrome に MagicKTX のコードが使われている可能性を思い、凹む。もう少しライセンスを工夫するとか、伊予銀が振り込みをぱくりさえしなければ、今頃は独力で世界有数の金持ちになれたのにね。そうすれば愛媛県も借金を返せるし、国も借金を返せる。全く、お偉方と来たら借金は重ねる方が良いと勘違いしているのだろうか。返せない借金は子供に迷惑が掛かるという事は実社会であれほど目にしていると言うのに。ただ単にスパンが長いと言うだけで、日本の実情はお寒い限りです。何で稼いで借金を返すつもりなのか、言ってみる。ほら。

日本企業は違法行為でも平気でやる、腐った連中ばかりです。米国企業、韓国企業は日本企業と取引するときは、法的順守事項、として羅列し、違反行為があれば1000億円程度の違約金を請求出来る様にしてください。

各国語に本マニュアルを訳してくださる方大募集です。報酬は Copyright(C) 表記として永遠に名前が残る事です。

from OfficeRYUZO RYUZO(RYUZO) as 龍造寺 徹
2020/01/29(水)

目次

第1章	MagickTXのライセンスについて	2
1.1	日本語による MagickTXのライセンス表記	2
1.1.1	CopyMiddle宣言:	2
1.1.2	CopyMiddle の定義:	2
1.1.3	著作権表示について:	2
1.1.4	著作権について:	2
1.1.5	Linux コミュニティへ	2
1.1.6	ライセンスの譲渡、中古品等について	3
1.1.7	違法コピーが発覚した場合:	3
1.1.8	解釈の優先順位:	3
1.2	ABOUT LICENCE of MagickTX in English.	3
1.2.1	The CopyMiddle pronouncement:	3
1.2.2	The definition about "CopyMiddle".	3
1.2.3	About showing CopyRight:	3
1.2.4	About CopyRight:	4
1.2.5	FOR ALL LINUX DISTRIBUTORS:	4
1.2.6	Trading Lisence to the others, about old market.	4
1.2.7	Occasion in Illigal use.	4
1.2.8	DIFFERENT BETWEEN IN JAPANESE AND IN ENGLISH LICENSE PAPERS.	4
第2章	はじめに	5
2.1	MagickTX_PROとは	5
2.2	MagickTX_PRO を導入するメリットデメリット	5
2.3	MagickTX_PRO 誕生の経緯	5
第3章	MagickTX_PRO の特徴	7
3.1	制限事項	8
3.1.1	使用するファイル名の文字種に関する制限	8
3.1.2	エスケープシーケンス使用に関する制限	8
3.1.3	仮想メールの宛名に関する制限	8
3.1.4	マルチログ機能に関する制限	8
3.1.5	ログリーダー起動に関する制限	9
3.1.6	ファイル移動の制限	9
3.1.7	メールボックスの名前の変更不可	9
3.1.8	Telnet対応ホストの制限	9
3.1.9	未読を読み終わった際の文字列の定義の制限	9
第4章	MagickTX_PRO の動作環境	10
4.1	推奨動作環境	10
4.2	使用方法	10
第5章	環境設定	12
5.1	KmTermX for Windows 本体の設定	12
5.1.1	基本設定	12
5.1.2	ネットごとの設定	12
5.1.3	WAVの設定	12
5.2	MagickTX_Pro の設定	12
5.2.1	メッセージ定義について	12
5.3	MKTX_Pro.NET の設定	14
5.3.1	global option:	14
5.3.2	local option:	17
5.4	ログリーダーの設定	18
5.5	ホストの設定	19
5.6	機能の補足説明	19
5.6.1	ログショート機能について	19
5.6.2	発送メールのログ出力に関して	19

5.6.3	マルチログディレクトリ機能について	19
5.6.4	ファイル転送プロトコルについて	20
5.6.5	高速通信について	20
5.6.6	オプションの概念について	20
5.6.7	掲示板オンライン書き込み機能(KTC-BBS)	21
5.6.8	他回線監視機能について	21
5.6.9	セミオート回線切断機能	21
5.6.10	手動で起動した場合について	21
5.6.11	バイナリメールについて	21
5.6.12	KTC-BBS のログイン時について	21
5.6.13	キー入力によるMagicKTX_Pro 制御一覧	22
第6章	PAD	23
6.1	PADとは	23
6.2	PAD を使ってできる事	23
6.3	PAD の書式	23
6.4	PAD の文法	24
6.4.1	ダウンロード	24
6.4.2	バッチリストによるダウンロード	24
6.4.3	アップロード	24
6.4.4	フォローアップロード	25
6.4.5	バイナリ/テキスト混在ボードへのアップロード	25
6.4.6	バイナリ/テキスト混在ボードへのフォローアップロード	25
6.4.7	IDリスト取得	26
6.4.8	ボード一覧の取得	26
6.4.9	ハンドル名の変更	26
6.4.10	RNALL コマンドで読むボードの設定	26
6.4.11	ユーザーデータの取得	27
6.4.12	掲示板の書き込み	27
6.4.13	バイナリメール送信	27
6.4.14	ボードへの書き込み	27
6.4.15	バイナリリスト取得 (ファイルリストのみ)	28
6.4.16	バイナリリスト取得 (フルサイズ)	28
6.4.17	リードポインタ移動	28
第7章	その他いろいろ	29
7.1	開発環境	29
7.2	連絡先について	29
7.3	転載について	29
7.4	著作権について	30
7.5	シェアウェアについて	30
7.6	堅牢度について	34
7.7	振込先	35
7.7.1	by in English or another	35
7.7.2	日本語によるサポート、支払先	35
7.8	補償内容	35
7.8.1	日本語表記による補償内容	35
7.8.2	My Responsibility written in English.	36
7.9	謝辞	36
7.10	あとがき	37